

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成 19年8月28日

事業所番号	2770901870	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	有限会社 スギタ		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	サポートハウス 城南	所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103
所在地	大阪府高槻市城南町2丁目16-16 (電話)072-675-1219	評価調査日	平成 19年 8月 28日
		評価確定日	平成 19年 9月 6日

【情報提供票より】 (平成 19年 8月 17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	9人
職員数	20人 常勤 3人 非常勤 17人	常勤換算	8.5人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨造り 2階建ての(1階～2階部分)
-------	------------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	50000円	その他の経費 (月額 35000円)		
敷金	有 (20万円)			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 (40万円)	有の場合 有償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1500円	

(4) 利用者の概要 (8月17日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	1名		
年齢 平均	83才	最低	73才	最高	97才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	近藤診療所 加藤デンタルクリニック
---------	----------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

経営理念として先ず第一に「ご入居者様が主人公」として掲げられており、職員一同がこの事を実践している。中心となる職員が設立以来勤務し、安定した介護サービスが双方の笑顔の中に日々行われている。入居者一人ひとり1時間ごとに24時間の状態が毎日洩れなく記録されてをり、介護の大切な情報となって、ご家族、職員に共有のものとなっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	散歩の機会をふやす提案をしたが夏冬の気温の変化で嫌がる方もあり、希望される方々と近所への散歩を行っている。玄関の鍵掛けは真横が幹線道路のため已むを得ないのでドアに警音機を取付けて職員一同が音に注意を払っている。玄関付近は花の鉢などで簡素ながら目を和ませている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	常勤職員が中心となって、今回の自己評価に取り組み、現状の反省、問題点の発見と提案が行われ、改めて運営理念の職員全体の理解と実践の重要性を確認した。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	平成18年9月から今年の7月までに4回の運営推進会議を開催した。この会議によって地元自治会長と民生委員との交流が図れることになった。会議の内容は主としてグループホームの活動機能の説明であったが地元との交流が徐々に進むことを期待している。会議の成果として市内のホームの方々との交流を通じて、介護向上に結びつけたいと願っている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	ご家族の当ホームのアンケート調査では、全家族の方々が安心と満足感を持って頂いているが、これに安心することなく介護のより向上に励むことを願っている。毎月の「城南だより」には、近況のエピソードの手紙文が添えて送られている。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営推進会議によって地元の自治会長さんと民生委員さんとの交流を深め、「城南情報」を回覧してもらっている。また、当ホーム主催の「城南まつり」にも、参加をよびかけている。今後、更なる地元住民の方々との交流を深めることで事業所の存在を知っていただくことを願っている。

評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念として ・御入居者が主人公 ・尊厳を保つ ・生きがいのある生活 ・地域社会と共に この4つを掲げ職員は励んでいる		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関前や事務所に理念・方針を掲示している。	○	内部研修会や日常の申し送り時に理念の心構えと実践を伝えて欲しい。
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営推進会議を通して地元自治会長さんや民生委員さんとの交流が進められることになった。地元住民の方々との更なる交流を図ろうとしている。	○	地元の住民の方々が気軽に立寄れる関係にまでなれることを期待します。ホームで地元の方への対応可能な福祉のお手伝いの範囲を提示することも一案ですが。
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	内部の研修会で職員が評価について話し合い、改善に取り組んできた。今回も経営理念に基づいて検討を行っている。		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	昨年からの運営会議ではグループホームの働きの説明や評価結果の活用などの説明が主になっていた。今年度は前向きな話し合いとなるよう進める予定。		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	情報交換の機会をふやすために市の担当者の方々との出会いを増やす予定。		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	「城南だより」と入居者の近況を毎月発送しており、時には電話にても連絡を行っている。		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームの重点業務として、ご家族との対話を出来るだけ多く行なっている。入居者の過去の生活環境、性格、行動等を聞き出すことで、介護のポイントとしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は介護の中心的活動は勤続年数や経験の豊富な職員によって行われるよう配慮している。経験の少ない職員は研修を受けさせながら介護を行わせている。	○	職員間の情報交換や人間関係は士気に関係します。ストレスが溜まらないようにも配慮してあげてください。

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は良い人材を見つけることと養成が経営のポイントとして努力している。	○	介護の向上はすべて介護者のレベルアップしかありませんので、内外の研修は計画的に行って欲しい。
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議が発足したので同業者との交流を実現させて、介護レベルの向上を図ってください。	○	世間は広いものです、貴重な知恵が与えられるでしょう。是非実現できるようにお世話ください。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	運営者と施設長が配慮して体験入居等も加えて説明を行っている。		
--	-------	--	--------------------------------	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も一緒に生活をしながら喜びや、不安を共有しながら日々を送ってもらっている。		
--	-------	--	---	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は手分けして一人ひとりに必ず接する時間を持ち、ご本人が何をして暮らしたいのかを引き出せるように努めている。		
--	-------	---	---	--	--

こ

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員の毎日のケアでご本人との対話を重点としており、その結果を記録し介護計画の基としている。個人毎の24時間の毎時の状態を記録してあり計画作成の助けとなっている。		
--	-------	--	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	基本的には3ヶ月に一度だが、毎日のケアに即してプランを作成している。大変きめ細やかな対応が行われている。		

3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	特にこのようなケースは発生していない様子だが、日常のケアの実施状況から、各種の問題に十分対応できる能力を持っている。		
----	----	---	--	--	--

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	掛かりつけ医師と職員との話し合いがよく行われており、家族の意思も伝えられている。		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りは入居時の契約でご家族に説明されており、昨年はお一人の看取りを行われた。		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	研修会等で職員は重要性を認識しており、個人情報記録関係は専用の場所に保管している。		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活は入居者のペースに合わせて支援している。		

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	手伝い出来る方に配膳や片付けをやってもらっている。好みの音楽をかけ職員と一緒に頂いている。施設長が栄養士の有資格者で経験を生かしている。		
----	----	---	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	特に希望がない場合以外は決まった日に入浴してもらっている原則的にゆっくり入って楽しんでもらっている。		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自発的に役割を持ってやって頂いている、皆で歌ったり、カラオケをやったりで楽しんでもらっている。		
25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している	個々の希望によって散歩に出てもらっている。		

(4) 安心と安全を支える支援

26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	個室の鍵かけは本人まかせになっている。玄関の鍵は直ぐ横が幹線道路のため御家族も希望されて鍵かけがされている。戸には警音機をつけ職員一同が注意している。		
27	71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署をはじめ市役所からも指導があり実施している。地元自治会からも訓練参加の申し出があり実施予定となっている。	○	深夜、早朝の地元のご援助は大きな助けです。万一の場合の備えをマニュアル化しておいてください。

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

28	77	○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事と水分一日分の摂取量は個人別に記録されて夫々の体調に合わせた支援が行われている。		
----	----	--	---	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

29	81	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内は和風で落ち着いた雰囲気を持たせてある。共用の空間には、季節に応じた演出が行われている。食事のときは日頃好まれている音楽のCDを流している。		
30	83	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時にご本人の使い慣れた道具、物品を置いて、入所前と似た雰囲気で生活してもらっている。		